

PLAYBOY

世界の今を読み解く、知的突破マガジン!

ビートルズは、 世紀末予言者だった!

定価 680 円

10

OCTOBER. 1999.

★大特集★いまだからこそビートルズ

●ホール、ジョージ、リンゴが同席!

8.30ビートルズ再結成!? 直前インタビュー

●ビートルズ・メロディの遺伝子を解明する

●4人は「ケルト・ワールド」からやってきた!?

●アジアにはアジアのビートルズを!

●ジョン・レノンとは、こう生きた

●超新訳・ビートルズ歌詞21世紀バージョン

●日本美女図鑑

斎藤陽子、
濡れる!

●PBインタビュー

ノーマン・
メイラー

戦争の世紀、20世紀のアメリカを語る

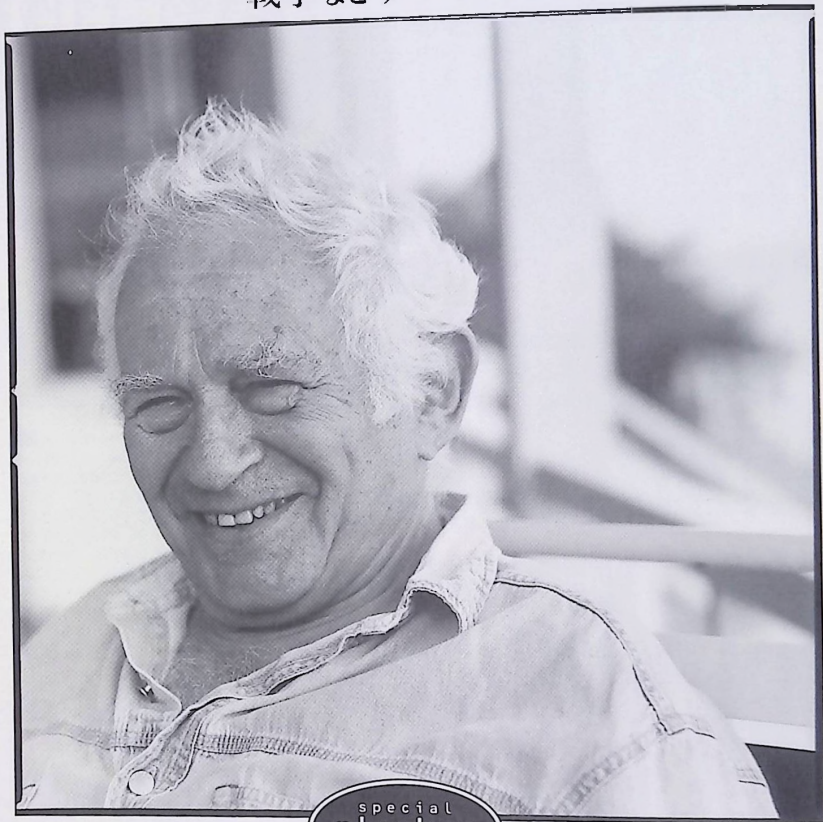
★緊急特集★

スタンリー・
キューブリック
天才か、奇人が
未完のSF大作製作秘話

戦争の世紀、20世紀のアメリカ

ノーマン・メイラー

命を捧げるほどの理想がない国は、
戦争などするべきではない



special
playboy
interview

まさに戦争の世紀として記憶されようと

している20世紀の終わり、アメリカはまたしても

正義の戦争を戦った。20世紀に世界を支配した「戦う国家、アメリカ」の面目躍如たるどころだが、21世紀を目前にして、この国の歴史を冷徹に見通せる知性とはいったい誰なのか？ われわれはアメリカを代表する作家、ノーマン・メイラーに白羽の矢を立てた。25歳で華々しいデビューを飾って以来、'60年代には行動派の作家としてときにスキャンダラスに一世を風靡し、常に第一線で時代や文化にコミットしてきた興味深い人物である。すでに76歳になった作家は、この時代と世界をどう見ているのか。インタビューを申し込んでから、半年後の去る6月末、ついに『PLAYBOY』日本版の独占インタビューに応じてくれることになった。

ノーマン・メイラーは、紀元2000年に差ししかろうという現在、世界と時代を語ることできる数少ない作家のひとつである。最近彼は、ワシントン・ポスト紙に寄稿したコラムでソソ粉紛争について記し、「オルブライト國務長官も、コーエン国防長官も、そしてクリントン大統領も、ミロシエビッチに對抗できるものではない。そのうちの誰かが戦争従軍経験がないからだ」と書き、戦争従軍体験のない政治家が戦争を始めたことを批判した。

メイラー自身は1944年1月米陸軍に召集され、第2次世界大戦の太平洋戦線へと送られた。そのときの従軍体験をもとに「裸者と死者」を発表、25歳で世界的ベストセラーを出した。60年代には、コラムニストのジミー・ブレザンとともにニューヨーク市長選に出馬するなど社会活動にも関わり、以来30冊以上の著書をもつ。現在マサチューセッツ州アブロードの自宅で6番目の夫人ノリスさんと暮らし、執筆活動に専念している。インタビュアー様、ご存知られるメイラーを自宅に訪ねた。

青木 (以下A) 第2次世界大戦の終戦から聞きたいのですが、戦争が終了したときにはフリスピンにいて、その後日本に上陸したのですか？
ノーマン・メイラー (以下M) あ

のときは千葉の館山に上陸した。フジヤマが向かいに聳えていたよ。あの半島のことはよく覚えていて。本当に美しかった。それから銚子と小名浜にも駐留した。

A 館山にはどれくらい駐留したのですか？
M しばらくいたね。3カ月くらいだ。あそこは僕にとって特別の意味がある。(終戦直前に米軍の) 日本本土上陸作戦が計画されたとき、僕は館山飛行場に上陸することになっていて。なんとも賢明な米軍はこの日本軍飛行場を敢えて選んだのさ。ふたつの大きな崖が滑走路の両側を取り囲む格好でそそり立っている。上陸して歩き回ってみると、その崖(の側面)にはこんなに深い砲床が作られていて、滑走路に向かって照準を合わせていたんだ。もし、攻め込んでいたら、修羅場と化していただろう。われわれは本土上陸第一陣だったから、ほとんど全滅していただに違いない。だから、僕にとってヒロシマへの原爆投下は二重の意味がある。誰もか感じるように、原爆は信じられないくらいひどいことだった。しかし、原爆が投下されず、米軍の日本本土上陸作戦が開始されていたら、たぶん僕は死んでいただろう。

A 裸者と死者も生まれなかったわけですね。実際、上陸したのではないだったのですか？
M 戦艦ミズーリーでの降伏文書調

Norman Mailer ノーマン・メイラー 1923年、ニュージャージー州生まれ、ニューヨークのブルックリンで育つ。ハーバード大卒、仏ソルボンヌ大・大学院卒。第2次世界大戦の従軍体験をもとに、'48年に「裸者と死者」を発表。'68年、「夜の軍隊」で全米図書賞、ピューリッツァー賞を受賞。'80年には「死刑執行人の歌」で2度目のピューリッツァー賞。その一方で、スキャンダラスな話にも事欠かない。とくに'60年、夫人を刺して瀕死の重傷を負わせた事件は世間を驚かせた。ベトナム反戦デモで逮捕されたり、'69年にはニューヨーク市長選に立候補して落選したりと、吾輩派というより、常に行動する作家であった。その他の主な著書に、「庭の庭」(57)、「ぼく自身のための広告」(59)、「アメリカの夢」(65)、「性の四人」(71)、「マリリン」(73)、「ザ・ファイト」(75)、「天才と欲望」(76)など。

青木富貴子

1948年、東京都生まれ。「ライカでグッドバイ——カメラマン沢田敏一が撃たれた日」で注目され、以後「アメリカを探せ」「たまたま日本人」「星条旗のアメリカ」「ジャーナリスト・アメリカ」(以上文芸春秋)「ニューオーカーズ」「デンバーの青い闇」——日本人留学生はなぜ愛されたか」「ガボスのがたり」——ハミル家の愛犬日記(以上新潮社)、「風と共に去りぬ」のアメリカ——南部と人種問題」(岩波新書)など綿密な取材に基づく作品を発表。'84年から3年間「ニュースウィーク日本版」ニューヨーク支局長を務め、'87年作家のビート・ハミルと結婚。ニューヨーク在住。

インタビュー——青木富貴子
interview by FUKIKO Aoki

ないことを悟る。考えてごらん、誰にも特に重要な意味もなく死ぬんだ。大災難で死にますというところは、多くの人々は、もし死んだら、少なくとも数人の目にまつて欲しいと願うものだろう。しかし、ヒロシマは予告なしの絶滅だったし、深遠なまでの心霊的ショックだった。

A その通りです。
M だから、ヒロシマはホロコーストと同列ではあるけれど、もっと不意で、もっと突然で、もっと無条件だった。
A 米国では第2次世界大戦終結50年を記念する年に、ワシントンのスミソニアン協会が「原爆展」を企画したところ、アメリカ在郷軍人会や右翼団体の猛烈な反対にあい、事実上中止に追い込まれました。広島、長崎は多くのアメリカ人にとって、まるでトラウマのように残っているのでしょうか？
M トラウマかどうか知らないが、たぶん、世界でもっともパワフル

の調印式を牛耳るラジオリサール將軍は平和条約に署名するため、前方に進み出ました。まさにこのとき、雲を破って太陽が東京湾上に輝いたのです。もちろん、これはテレビ以前の時代だったからね。実のところ、現場はずっと曇っていた。その瞬間、僕は天啓のように計り知れない認識に目覚めた。権力というものはいつも嘘をつくということを目の当たりにしたのである。それからというものの、僕は「偉大な人物の声」など決して信用しない。

20世紀のトップニュースはヒロシマとホロコースト

A ワシントンにあるジャーナリ

M そう、ヒロシマは生きているものすべてに重大なショックを与えた。「ホワイト・ニグロ」というエッセイでも書いたことだが、原爆のことを考えると(あれだけの大量殺害で)ひとりの人間の死がまったく人目を引かず、注目され

なこの国で、アメリカ人は自分自身の間違いや国家の過失を無視するという不愉快な資質をもっているのだ。われわれがしたことはモラル上、絶対的に間違っていたと発言する者は誰ひとりいない。そんなことをすれば、政治家は政治的致命傷を負うことになる。まあ、どこの国でも同じようなものだろうが、ここではもつとはつきりしている。だから、アメリカ人は直視したくないことには、目をそむけてしまう。

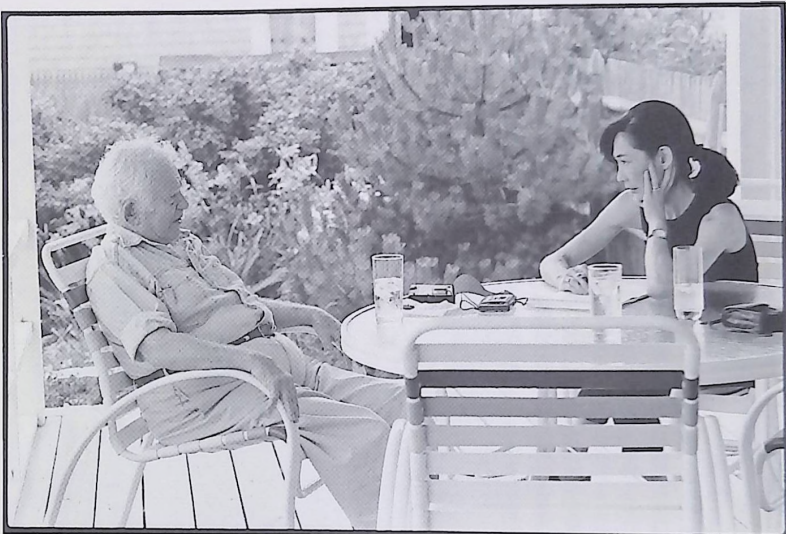
A 中国系アメリカ人の作家、アイリッシュ・チャンの記した『レイプ・オブ・ナンキン』という本が2年前に出版されベストセラーになりました。なぜこのような本がアメリカ人に人気を呼んだのでしょうか？ あるいは、アメリカ人は広島への原爆のための格好の手段として、これを利用しているのでしょうか？

M まさにその通り。アメリカ人にはヒロシマに関して深い罪の意識がある。われわれはそれについてもう考えたくないし、問題にもしたくない。だから、日本人が1937年に南京で中国人にひどいことをしたと耳にすると、ほつと安堵するのだ。

A だから、『レイプ・オブ・ナンキン』がベストセラーになったと？
M その本がなぜベストセラーになったかなんて聞かなくて欲しいよ。多くの作家と同様、僕の本が

よく売れる年があれば、売れない年もある。予想した以上に売れる年もある。でも、なぜなのかは僕自身

身まったくわからない。それにしても、これまでに南京虐殺なんて聞いたことなかったな。少なくとも



吉本富貴子氏は、昨年メイラーの作家生活50周年を祝うパーティに夫ビート・ハミル氏の代理で出席した。

世界でもっともパワフルなこの国で、アメリカ人は自分自身の間違いや国家の過失を無視するという不愉快な資質をもっているのだ。

も、この50年間は、それがいまだ突然、話題になったというんだね？

A そうです。まったく突然だ。

M まあ、日本に対する敵意というものは確かにある。いや、それ以上のものかもしれない。多くの人は反日的なものを見たのかもしれない。アメリカ人のなかには、次の世紀はアジアが支配するのではないかという恐怖感が確かに隠されているからだ。

A これだけアジアと日本の経済が低迷してもですか？

M 10年前にはもつと強かっただろうがね。日本の景気後退は既に、いまではあまり聞かなくなった。しかし、現在でも確かに残っていると思う。もし、日本と中国が手を結べば、米国とヨーロッパを簡単に蹴落としてしまうだろう。彼らの知性と献身、勤勉、それに人々への期待感が低いこと等がアメリカ人にとってつねに恐怖であり、不安材料なのだ。それに彼らの宗教はわれわれとかけ離れているから……。

A 生活環境も文化もあまりに違っていて理解できない……。

M そう、すべてあまりに違って。そこで、あの本がなぜ、人気になったのか。その解答を出そうとすれば、あの本のなかでアジアは決して美しく描かれていないからだ、といえるだろう。『レイプ・オブ・ナンキン』に登場する中国人はよいイメージではないし、日本人はもっと悪いことはいくらもあるのだ。そこで「見てみる、われわれはなかなかよくやっているではないか。アジアであのふたつの国がやっているのを見てならん」ということになるのだろう。

戦う国家、アメリカというセルフイメージ

A 戦年のPLAYBOYマガジンで、「米国はこの地球上のどの国より、戦う国家というセルフイメージをもっている。だから心理的にベトナムから脱出できないのだ」と発言していますね。それは今回のコソボ空爆でも、同じなのではないでしょうか？

M あれは歴史の皮肉ともいえるべきものだろう。もし、クリントンが大統領でなかったら、「地上軍を送ろう」と即座に決定したことだろう。しかし、クリントンはそうできなかった。コラムニストのジミー・ブレイザーが面白いコラムを書いている。彼が早朝5時にソーホーを歩いていたら、モニカ・ルインスキーを見かけたというのだ。そこで彼はこう自問する。「あの娘は(コソボの)戦争を始めたのが自分だということを知っているのだろうか？」と。

国家になると、自国自身のモラルを追究しようとしないう。

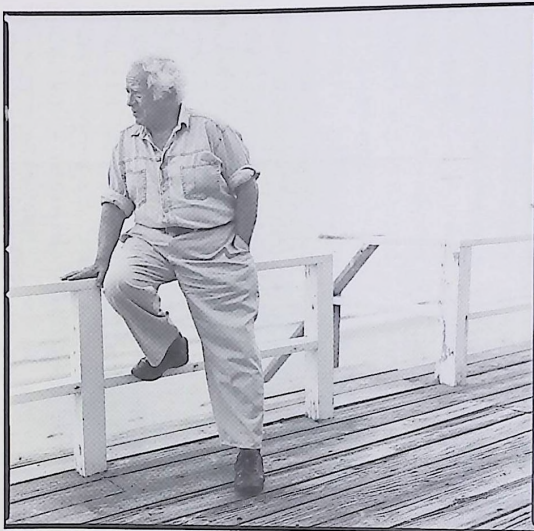
A 米国はいつも戦争国家であり、いつも世界のナンバーワンになりたいと思うのでしょうか？

M いや、その考えが広まったのは第2次世界大戦以降のことだと思ふ。20世紀前半までの長いあいだ、ここが世界ナンバーワンの国という感じはなかった。しかし、世界最良の国という感じはあった。他の国で差別されたら、協調できなかった者がこへやつてきたのだから。もちろん、その意見にも単純化のきらいはある。確かに、西欧から来た者はアジアから来た者より親切にされたし、西欧から来た者は東欧から来た者より温かく迎えられた。とはいえ、そこには粗削りの真実が含まれている。米国に移民すれば、2世代、3世代目には裕福になれるということだよ。

A それはいまでも続いています。

M ところが、大恐慌が起こって、人々の信念は揺らいだ。第2次大戦後、その信念は持ち直し、ソ連と戦う道具の一部として広がり、われわれは地球上もとても大切な国だという自信に変わった。それから50年、それはある意味で真実になったのかもしれない。生産的資源の豊かさや他国へ与える影響力のパワーという意味においてはね。われわれはその信念がすべてによいことなのか議論しようとし

クリントンにはモニカのために戦争を始めたわけではない。しかし、この戦いが終われば、誰一人、モニカのことを気にかける者はない、ということをも十分に認識していたことは確かだ。



今年76歳になるメイラー氏は最近、住み慣れたニューヨークより、ケーブコッドで過ごすことが多い。

ない。とにかく、われわれは盲目だからね。

A 単純な愛国心溢れる人が多いですからね。

M われわれは繊細な国ではないし、国の大きさにわりに、愛国心を振りかざしすぎる。小国なら愛国心も構わない。必要だからね。貧しい家庭が「われわれにとって家族は大切だ」というようなものだ。しかし、金持ちはそんなことに構う必要がない。家族がそれぞれ

勝利なことをしていられる。この国はこれだけ金持ちであるというのに、自国のことになるとすっかり敬虔になつて、一本調子になつてしまふ。反米的なことをテレビで発言すると、もう出演依頼はこない。米国への批判や風刺は歓迎されない。というのは、心の奥底に不安が潜んでいるからだ。

A なぜでしょう？

M われわれの国は移民の国で、根無し草だからだよ。市民がアイ

デンティティ喪失を訴えることと同じ列の問題だ。特に中西部の者はアイデンティティ喪失を感じ、アメリカ人であることをやたら強調している。

A ニューヨークはあまりいいところではないがどう？

M 東部と西部の住民は、自分が何者か、どこに属するのか、あまり探る必要がない。そればかりか、いまでは自分の生まれた街や育ったところを見つけれぬ人は稀になつてしまつた。街や近隣、すべてが急激に変つてしまつたように感じます。だから、より豊かで金持ちになつたと思う一方、心のなかな不安定になつてしまつたのだ。

A この国に住んで、精神が不安定な人が多いのは驚きました。

M 第2次大戦が終わったとき、アメリカ人は大恐慌が起こるだろうかと考えた。それにどう対処しようかと思つた。少ないお金でやりくりし、どうやって生計を立てるか心配した。しかし、実際にはまったく反対のことが起こつた。'50年代の繁栄の始まりだった。人々は思つていたよりずっとたくさんのお金を手に入れ、そのお金をどうしたらよいかわからなくなつた。

金持ちになつて不安になつたのだ。そしていまでは、ほとんど気が狂わねばどの状態にある。あまりにも裕福で、毎日大金を使うこともできず、一生のうちに使い切ることもできない。これが大きな不安を呼んだ。だから、アメリカ人はじつと座つていて、次の災難、その次の災難を案じる。だから、リトルトンの高校乱射事件に震え上がった。あれはどうみても理解を超えたことだった。そればかりか、災難を期待することにもなる。コンピューターのY2K問題ではすでに縮み上がっているみたいだね。

命を捨てたいと思つほどの理想をもてない時代

A ノーマン・メイラーとの対話という解説書で、編者のマイケル・レノンはこちら書いています。'60年代はメイラーにとって、もつともハッピーであり、騒がしくも、生産的な時代だった」と。この意見にはどう答えますか？

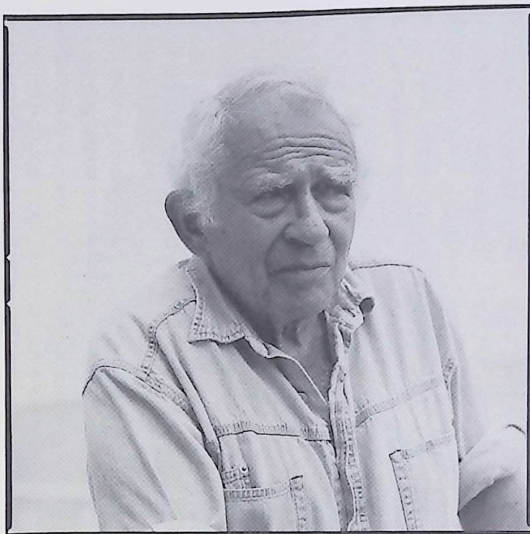
M '60年代にわれわれはみんな、歴史を作つていてと思つたものだ。もうあんなことは起こりえない。ちやうど、その年頃になる息子がいるからよくわかるが、いまの若い世代も同じ期待感をもっている。彼らは歴史という汽車に乗つて、コンピューター・ランドに到着したようなものだ。しかし、彼らは歴史を作ることなど絶対にできない。'60年代にはわれわれの代表が

すか？
M もろんだ。彼らはどうして
よいかわからないからだ。僕のい
ちばん下の息子で21歳になるジョ
ンは、彼らの世代には友情以外に
何もないといつて不平をこぼして
いる。唯一、彼らのあいだで起こ
っている運動は、ポリティカル・
コレクトネスだけというのだ。大
学ではすっかり盛んらしいね。し
かし、ポリティカル・コレクトネ
スでは何も解決できない。感情を
抑えることができないからだ。し
かし、それがポリティカル・コレ
クトネスの意図するところだ。「こ
ういうふうに感じなければならな
い」と命令する。日本人は僕より
よくわかるだろう。このように感
じ、考え、過ごせと強要される異
に陥ると思う。

A 日本では神戸の郊外にあるモ
ダンの新興住宅地で14歳の少年が
5歳の少年を残虐に殺害する事件
が2年ほど前に起こりました。い
までも衝撃は消えないほどですが、
急増する少年犯罪を考えると、
われわれは若い世代より社会に責
任があると考えなくてはすか？
M いつても誰かに責任を擦りつ
けることはできる。1カ月はど前
郊外に住む友人を訪ねたんだ。招
いてくれたのはなかなかいい夫婦
でね。向こうの奥さんとうちのが
友達で、一緒に一日を過ごした。
それで、一日何をしていたかとい
うとテレビを見ているだけ。話を

するより楽だからね。外に出てみ
ると、郊外の街だった。知り合い
の家はいい感じに家具調度も揃っ
ていて、その隣のうちも同じよう
なセンスで同じように飾られてい
るのだろう。しかし、隣とは何の
付き合いもない。さらに、道路も
本道の道と呼べるものではない。
歩いてみようとしたが、すぐ飽き
てしまった。何もなくて、偶然何
かが起こることがない。すべてが
計算し尽くされているからね。ま

るで死んだようなところだったよ。
そこで僕はこう思った。ここでは
きつとひどいことが起こるに違
いない。何もひどいことが起こつて
いないから。
A ニューヨークとは正反対です
ね。
M そう、僕はよくいうんだ。ニ
ューヨークの住民は誰よりもハッ
ピーだ。住民は議論がましく、
いらいらすることばかり。多少
の危険があるから、生き生きして



「もう1冊、ものすごい本を書きたい」と、創作意欲は衰えない。

年をとるにしたがって、
人間の本性についてますます悲観的になってきた。
人間というのは、全員、殺人者だと思う。

いられる。
A (笑) 本当、米国の学校乱射事
件は必ずといってよいほど郊外で
起きていますね。
M 古くからの郊外ではなく、新
興の郊外だ。古くからある郊外は
2世代、3世代が住んできた街に
なっているから、ちよつとした歴
史がある。さっきの言葉やもう一
度使えば、根があるんだ。ところ
が、新しい郊外というのは不動産
業界の凡庸な人物によってデザイ
ンされたもので、どんなことがあ
っても住みたいと思わせるもので
はない。
A でも、多くの人々が新興住宅
地の新しい一軒家に住みたいと思
っていますよ。そこで中流の暮ら
しを楽しみたいと。
M そう、中流階級というのは危
険な階級だ。というのも、人々が
中流階級になりたいと思うのは、
一般的にあまり心配がないからだ。
労働者階級では、往々にして親父
がのんべんだつたり、母親は働き
過ぎて機械が悪いなんてものだ。
あるいは、悲惨な家庭状況だつた
りね。子供は貧しい環境で育つた
ら、タフにならなくちゃならない。
A ボクシングの選手になったり、
マフィアの一員になったりする子

も出てくるわけですね。
M 労働者階級の出身ならば、15
歳までは生き延びる術を身につけ
ているだろう。ところが中流階
級は、全体のコンセプトが人生保
護にある。中流階級は保護されて
いる。そこで中流階級になると、
危険のないところを選んで住む。
それが次の危険を呼んでしまう。
誰も身を守る術を知らないからさ。
英語には、ストリート・スマー
ト、という表現があるくらいだ。
さて、中流階級の子供が名のある
私立大学などへ行つて、ストリー
ト・スマートのセンスがないまま、
政府の要人になったりする。クリ
ントン政権のトップに立つ何千人
かのはとんどが新しい郊外で育ち、
い大学へ行ったんじゃないだろ
うか？ そして、ストリート・ス
マートはますますいなくなる。
A 恐ろしいことですね。
M ガッツのある賢者など出てく
るはずがない。マダリン・オルブ
ライトのような人物がミロシエビ
ツチのような人物という構図を考
えてみるという。ミロシエビツチ
は人類が想像もしていないほどの汚
いトリックを知っている奴だ。そ
のうえにはそのうえの、もつと老
獳なのがいる。あのロシア人たち
こそはもつと汚いトリックを知っ
ているのだ。そんな(中流階級の)
人生を送ってきた者のなかに、ミ
ロシエビツチと交差できる者など
いるはずがない。

ヘミングウェイは、叔父が父親代わりのような存在

A 文学について伺いたいのですが、いまの若い人たちは本を読みません。特に文学をね。なぜそんなことになったのか？ 彼らは文学と自分自身をつなぎ止めるものを見出せないのか、あるいは文学が本という形で、彼らの心に届かないのでしょうか？

M 僕は恐れているんだ。文学は衰退の途にあり、僕は滅亡に向かう仕事の専門家として、その先方に立っているのではないかと。文学は映画によつてすごい勢いで挑戦されている。だが、それでも両者は関係している。映画は文学の弟分のようなこともある。かつては文学者でありながら、偉大なフィルム・メイカーであることは可能だった。いまは本場の文学者が映画監督になることなどありえない。偉大な映画監督が優れた文学者になることも稀だろうが、ほんの人数は可能かもしれない。少なくとも両者は常に闊う兄弟弟のようなものだ。そこにテレビという媒体が入り込んできて、一般大衆を共通分母のようにして、すべてを（低俗に）引きずり落とした。

A テレビが双方を変えたという意味でですか？
M ふんない。でもテレビを見ている。映画館や劇場へ行って、日々、知ることの多いのが映画を観る

るのとはずいぶん違うことだ。いつてみれば、映画を観に行くのは、教会へ行くのと同じような経験だからね。でも、これはもつと悪いことと比べると、マイナーな要素だ。テレビでいちばんいけないのは中断されること、つまりコマースヤルが有毒な種を蒔いているからだ。面白くテレビを見ていると7分か10分か12分ごとにコマースヤルで中断される。物語の流れを追っていると、中断！そこで7分以上物語に集中できなくなる。

A その通りですね。
M いまの若い世代は子供のときから、コマースヤルによつて中断されている。ラズベリにカラシを塗ってはいけないという理由はない、そんな考えに慣らされてしまふ。つまり、それがコマースヤルだからだ。コマースヤルは突然入り込んできて、番組とはまったく関係がない。小説を読むというのは何時間ともその世界に浸つて、読めば読むほど、面白さがわかってくるものだ。いまは何時間読書できる人が少なくなつてしまつた。（若い世代は）まるで神経系統に中断が組み込まれているんだ。子供が学校の勉強に集中できないのは、そのせいだよ。

A だから、文学は若い世代に受け入れられないのですか？
M 頭脳の状態が読書に向かなくなっている。彼らは昔ながらの習慣を取り入れたいと思わないから、そのようなものだ。僕のスタイルに

そこで、7頁ごとに何かワットと飛び出す仕掛けをしたら、本は売れるようになるかもしれない（笑）。
A まるでコマースヤルのように（笑）。
M 何か中断するもの、出版社が5冊の新作を予定していたら、5頁か7頁ごとに、他の新刊から2頁入れるとか。パツと頁が色つきになるとか……まったく馬鹿馬鹿しい。

A つまり文学については悲観的なのですか？
M そう悲観的だ。数年のうちに、文学者は詩人のような状態になるかもしれない。つまり、主要な文学者は、詩人がかつて受けたのと同様の畏敬と愛惜の念をもつて崇められることになるかもしれない。それでも売れ行きはどんどん落ち込み、詩人のような状態になる。われわれは文学を愛するから書き続けているのだが、生計を立てるのは無理になるだろう。

A 今世紀、もつとも大きな影響を与えた文学者をひとりで選ぶとしたら、誰を挙げますか？
M アメリカで？
A ええ。
M ヘミングウェイだ。ヘミングウェイと云ふ作家よりも多くの影響を与えたというところに疑問はない。彼は実に偉大な作家だった。もちろん境界はあった。しかし、僕にとつては、叔父が父親代わり

今世紀もつとも成功した革命は女性解放運動

というのはいわば分割払いしているようなものだ。愛。毎日、少し痛むが、払い続けている。
A 手は大丈夫ですか？
M 手はいまのところ問題ない。リウマチは膝と腰なんだ。

A 質問しづらいことですが、死について考えますか？
M 僕の死について？
A そうです。
M ああ、もちろん。若いときはどてはないが……。
A 若いときにどう考えたのしょうか？

M 若いといつても35歳くらいでマリファナを吸っていた頃、米世というのは確かに存在すると考えるようになった。米世というのはいまの人生より、あるいはそれ以上に、わくわくするもので、冒険に富み、危険で、難しいものだ。エジプトについて「古代の夜」という本を書いたのは、エジプト人

成功と失敗が待つていてと考えるからなんだ。もし失敗すれば、本当に死んでしまふ。成功すれば天国に外で永遠に生きる。もちろん僕はそのどちらとも信じるものではない。しかし、僕らが人類継続の途にあるとしたら、いかに一生を過ごすかによつて、次の生命に移り変わるかもしれないと考える

80代にすごい仕事のできる人は数少ない。僕は76歳だからね。でも、健康状態はかなりいいよ。リウマチではあるが、この不快感でかえつて元気づけられる。僕はカルマを信じるからね。われわれは人生で犯した罪、つまり悪いカルマの代償を支払わなくてはなら

ない。そこでリウマチにかかった

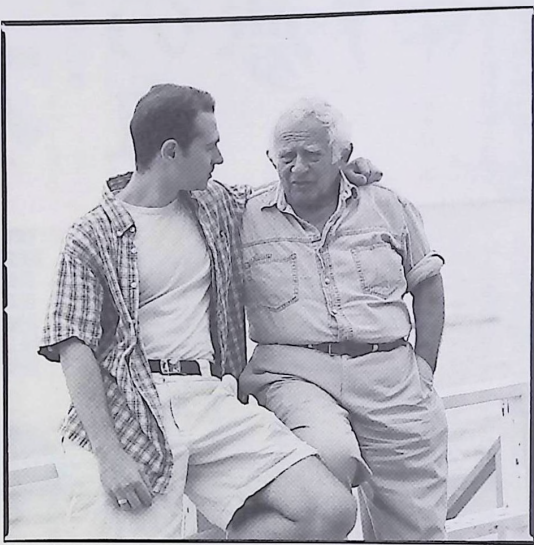
こともできる。もし生まれ変わる
ことができれば、素晴らしいじや
ないか。僕には単純な哲学がある。
神が最善を尽くしても、成功する
か失敗するかわからない。という
のは悪魔がいることも信じるから
だ。こうした考えに基づく哲学に
よって、ごく単純にこう考えるこ
とができる。自己憐憫はすべての
心霊的病気のなかで最悪のものだ
と。自己憐憫ほど悪いものはない。
それはすべてを腐らせる毒を盛る
からだ。しかし、もし、自己憐憫
をコントロールできるほどのレベ
ルに低めることができたなら、心の
平静が保てることになる。それに
僕には9人の子供がいるから、成
長を見守るのは楽しいことだ。
A それでは死を恐れないと
断言できるのですか？
M 興味津々だ。本当に僕の推測
が正しいかどうか、知りたいよ。
A 結婚について伺いたいのです
が、ノリスさんとはなぜ長く続い
ているのでしょうか？
M この3月で25年になる……そ
うだね、なぜかといえは、僕らは
同じ日に生まれたからだ。
A 本当！？
M 26年の違いがあるが、1分違
いだ。
A 信じられない！
M 僕らの誕生日は1月31日。似
た者同士ということは、一緒に暮
らすうえで楽なんだ。しかし、衝
突する時にはひどいことになる。

同じように聞いたらね(笑)。
A あまり喧嘩しないようにして
いるのですか？
M のらりくらりとした喧嘩さ。

ふたりが同じスタイルで喧嘩する
から、(大衝突すると)得るものは
ない。いい結婚の大切な要素のひ
とつは、いい喧嘩をすることだと
思っているが……もつともいい伴
侶をもっているなら、結婚について
話さない方がいい。危険だからね。
悪魔が聞いていて、「なに、結婚が

うまくいつているだつて、それな
らひとつ壊してやろう」なんて思
うといけないからね。
A 女性については本質的にロマ
ンティックなのですか？
M もうそんなことはないよ。か
つてはすごくロマンティストだつ
た。その頃、人間はすべてに可能
だと思つてた。つまり、人間は
ある時点からはじめて、まったく
違った時点に到達できると思つて
いた。数十年たつて僕が悟つたの

は、ほとんどの人はいかにゆつく
りとしか変われないか。不承不承、
怖がりながら変わっていくという
ことだ。
A これまでの人生経験から女性
について何を学びましたか？
M 若い頃、僕は革命家だつた。
でもいまになると、革命の結果生
まれたものには、とてもつげな
まのてしかなかったということを
感じる。今世紀、もつとも成功し
た革命はたぶん女性解放運動だつ
たろう。その結果どうなったか？
若い頃、僕は企業で働く人を嘲
笑つたものだ。9時から5時の
仕事なんて、かわいそうだと思つ
た。いま、ニューヨークからワシ
ントンやボストンに行く飛行機の
シャトル便には20人、30人の女性
が短いスカートのタイラードジャ
ケットなんか着込み、コンピュ
ターを抱え、携帯電話で話してい
る。彼女たちはみんな企業で働い
ているキャリアウーマンだ。女性
解放運動は何を勝ち得たのか？
そう、企業で働く女性を生み出し
た。それはそもそも革命の所産で
あつてはならないはずだ。彼女た
ちは男性の本性を変えたか？
それが革命の目的だつたはずなの
に、逆に彼女たち自身が取り込ま



9人いる子供たちのうちいちばん下の息子、ジョン(21歳)と。

命を捧げるほどの理想をもてないことが、
いまという時代のいちばんの難しさだと思ふ。
誰も理想のために死のうとはしない。

れてしまった。
A 現在とりかかっている仕事に
ついて同つてもいいですか？
M いや駄目だ。自分のワイフに
も話さない。なぜだかわかるか
ね？僕は「ハーロットの神」の
第7巻にかかろうとしていた。7
年と温めていたのだ。いいアイデア
が見つからなくなつた。だが、ア
イデアが浮かんだので執筆を開始
しようとした……本を書き始める
というのは、新しい結婚のような
ものだが……僕が突進し跳いてい
ると、ミューズの女神が現れて僕
にワインクしてた。そこで「ハー
ロットの神」をやめて、新しい本
にとりかかっている。この3、4
カ月は、リサーチを進めていると
ころだ。
A 回想録を書くつもりはありま
すか？
M たぶらないね。わからない。
自分自身にはもう飽きてしまつて
いる。インタビュが多くてね
(笑)。
A (笑) オーク、最後の質問で
す。今世紀の最後の日、つまり1
999年12月31日をどう過ごすつ
もりですか？
M まだわからない。ニューイヤ
ーの大きなパーティを聞くかし
れない。そのときには、ぜひ招待
するよ。
A それは楽しみです。
M たぶね、そうするだろう。そ
のときにまた会おう。☐